

<指導上のポイント>

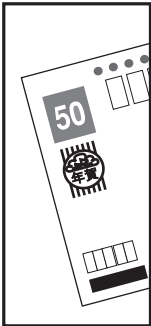
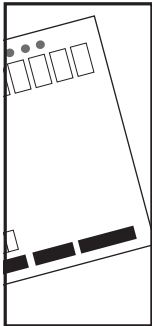
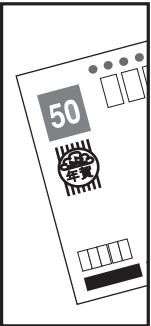
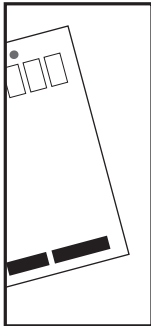
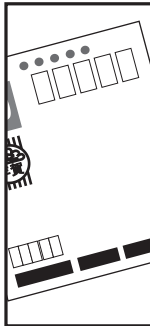
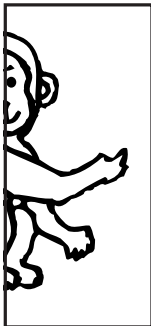
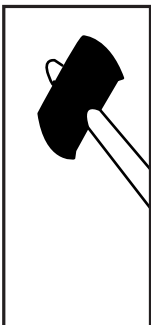
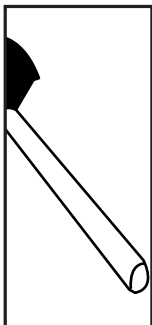
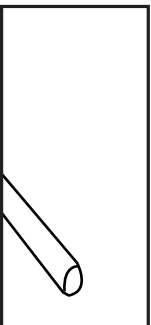
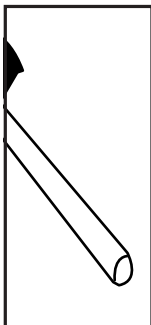
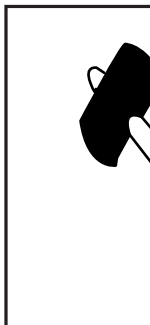
左の絵の欠けている部分を、右の4つの部分絵から見つける問題です。この問題を解くためには、絵というものが何であるのか感覚的につかんでおくことが前提になりますが、確実に何であるかの知識は必要ありません。

この問題をする事により、構成把握能力と思考力（判断力）をチェックし、育てることができます。また、この問題の解決能力が低いと、図形能力や数論理能力や思考力が低いということが言えます。構成把握能力は、合成分解能力と表裏一体の関係にありますので、構成把握能力は、数を認識する能力を左右するものであるといえます。具体的に説明すると、この能力がないと、例えば7が4と3でできているとか、5と2でできているという説明が理解できなかつたり、13が10と3でできているから13なのだという命数法（数の命名方法・・・数の名前のつけ方）がわからなかつたり、 $9+3$ は $10+2$ というように処理するのだという繰り上がりが理解できなくなってしまうということです。

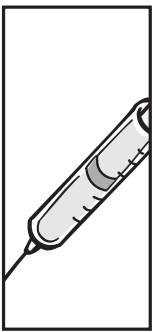
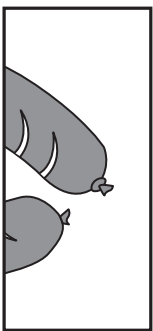
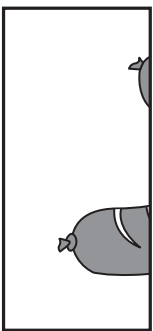
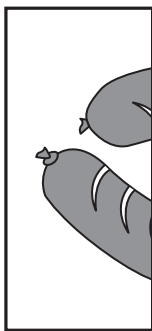
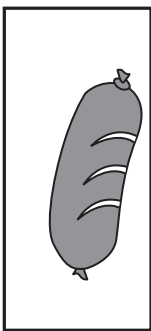
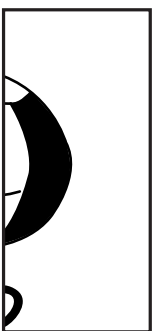
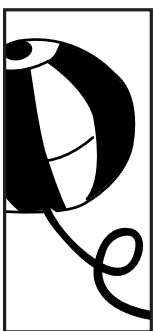
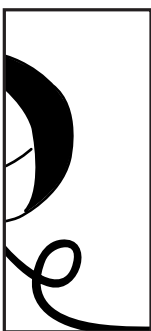
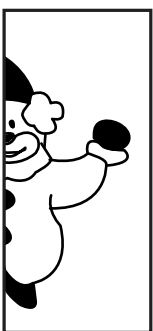
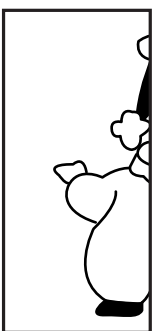
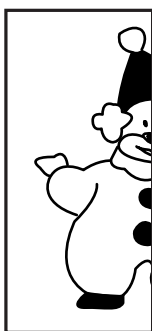
さて、この問題の解答方法についてですが、まず、左の絵の不足しているところはどのような絵になるかを想像しながら、右の4つの絵のすべてを同時に見ます。そして、この問題は絵の不足部分を見つける問題なので、左の絵と同じ部分の絵を持つものを消去します。言うまでもなく、消去が目的ではありませんので、すぐに正解が見つかるような簡単な問題ならば、その必要はありません。最後に、絵の続きの線が正しく続くかどうかをチェックし、正解を見つけます。

以上の点に留意して、問題に取り組んでください。

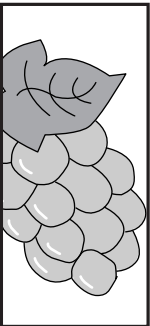
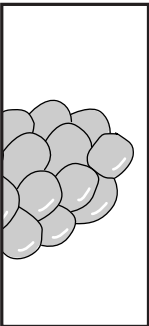
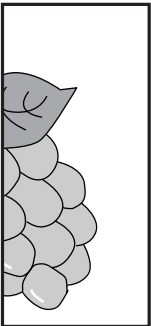
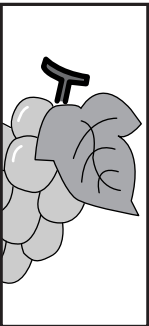
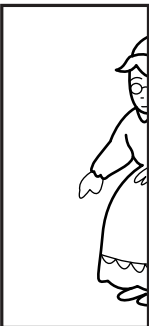
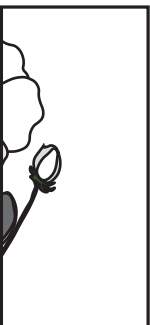
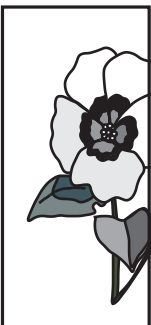
<問題 1> 左端の絵と合うものを右から選んで、○をつけましょう。

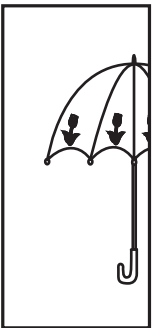
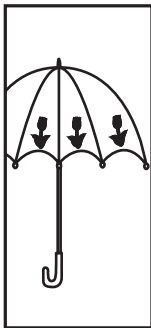
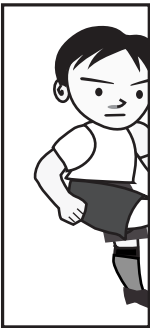
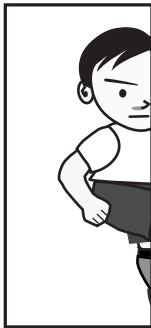
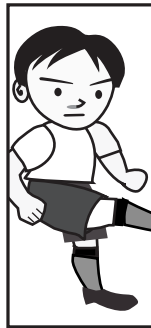
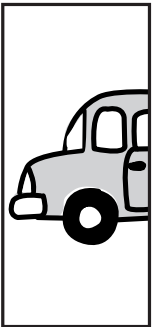
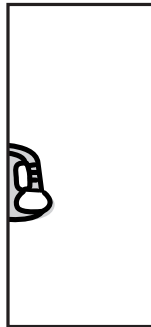
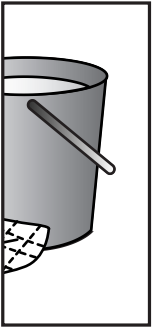
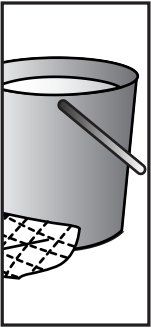
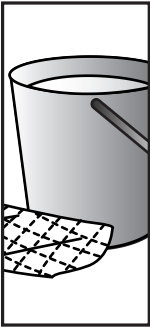
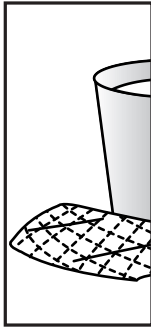
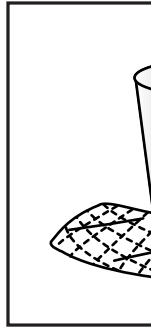
<問題 6> 左端の絵と合うものを右から選んで、○をつけましょう。

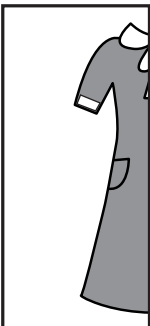
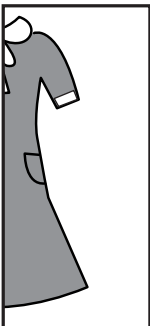
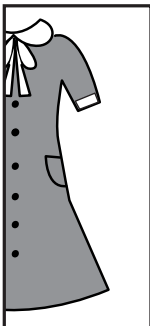
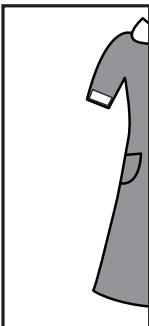
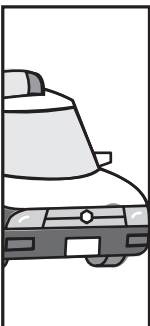
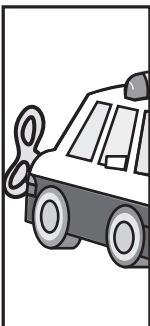
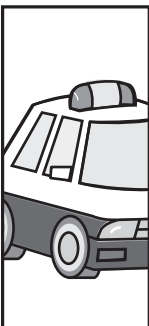
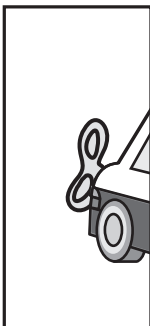
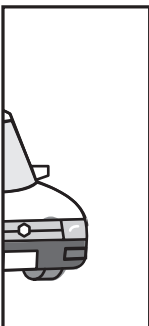
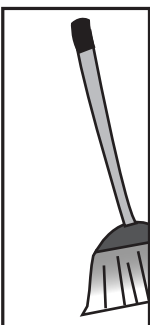
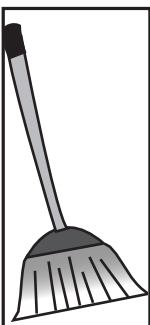
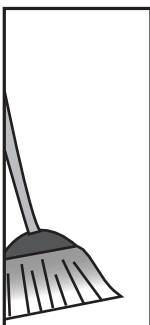
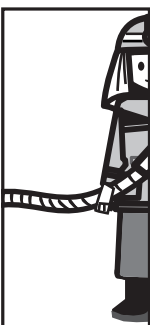
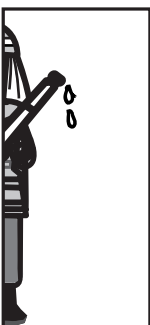
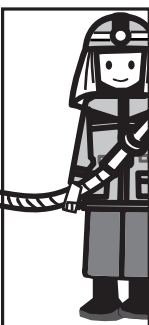
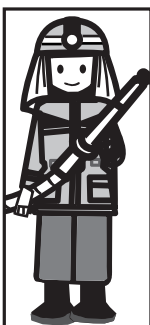
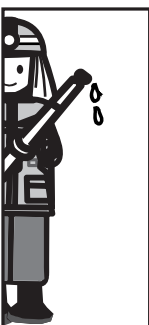
<問題11> 左端の絵と合うものを右から選んで、○をつけましょう。

<問題16> 左端の絵と合うものを右から選んで、○をつけましょう。

<問題21> 左端の絵と合うものを右から選んで、○をつけましょう。

<問題26> 左端の絵と合うものを右から選んで、○をつけましょう。